



Shell Thermia Oil B

シェル サーミヤ オイル B

— 熱媒体専用油 —

間接加熱方式は工業的に広く利用されており、100℃以上にも昇る高温間接加熱を行う場合には、熱伝導媒体として鉱物油を使用すると非常に有利です。しかしこの場合、高温で使用する熱媒体油としては十分な注意を払って使用寿命の長いものを選択することが必要です。

シェル サーミヤ オイル B は、各種間接加熱装置に適するように開発した低粘度石油系熱媒体油であり、その優れた温度・粘度特性によって、高度の熱伝導性と広い温度範囲にわたって安定した諸性状を有しています。

国内外において長年わたり多くの使用実績があり、好評を得ております。

■ シェル サーミヤ オイル B の特徴

1. 広い使用温度範囲

シェル サーミヤ オイル B は、-10℃でも液状であり、低温下で密閉する場合にでも、特別な配慮を行う必要がありません。また極端な高温で使用する場合でも、シェル サーミヤ オイル B の蒸気圧は大気圧以下であるため、蒸発その他の問題が殆んど起こりません。従って、気相熱伝導媒体の時のような高圧の配管や熱交換器を使用する必要がありません。

2. 酸化安定性

油が空気中の酸素と反応すると、不溶性の不純物とともに酸性物質ができます。この酸化作用は温度が高くなると激しくなり、油の粘度が次第に高くなります。

シェル サーミヤ オイル B は、高度精製鉱油を使用していますので酸化作用に対して安定した性質を有しております。しかし高温になると鉱油の酸化が早くなるため、加熱装置を密閉して、油に触れる空気をできるだけ少なくすることが必要です。

3. 熱安定性

鉱油を過熱すると分解し易くなり、揮発性のガスや不溶性の沈殿物ができてきます。シェル サーミヤ オイル B は強い熱安定性を持っており、油温が 290℃になってもその分解作用が少く、適当な循環を行えば長期にわたって使用することができます。シェル サーミヤ オイル B については、境膜温度が 340℃を超えないよう油の流速を加減する等の工夫が必要です。

シェル サーミヤ オイル B 代表性状								
油種	項目	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
						@40℃	@100℃	
シェル サーミヤ オイルB		0.850	214	−15.0	L1.0	26	4.7	100

* 代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。(2012-07)

シェル サーミヤ オイル B の物性				
温 度 ℃	密度 (g/cm ³)	粘度 mm ² /s	比熱 kJ/kg・K	熱伝導率 W/m・K
0	0.881	229	1.808	0.135
50	0.849	17.1	1.988	0.133
100	0.818	4.64	2.168	0.128
150	0.787	2.17	2.353	0.124
200	0.756	1.18	2.533	0.12
250	0.724	0.70	2.717	0.116

シェル サーミヤ オイル B の販売荷姿 : 200Lドラム

■使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。



取扱上の注意

▼下記の注意事項に従ってお取扱ってください。

主用途	工業用潤滑油		
△ 注意 取 扱 上 の 注 意 事 項	●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにしてください。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用する等、皮膚に触れないようにしてください。 ●ミストを吸入すると気分が悪くなることがあります。呼吸器具等を使用してミストを吸入しないでください。 ●飲まないでください(飲み込むと下痢、嘔吐します)。 ●容器から油を取り出すときは、必要に応じてポンプ等を使用して下さい。細管を用いて口で吸い上げないでください。 ●子供の手の届かない所に置いてください。 ●容器は切断・穴あけ・溶接等の加工、加熱及び加圧はしないでください。 爆発、引火等を起こすことがあります。	応急処置	●目に入った場合は、直ちに清浄な水で刺激がなくなるまで十分に洗浄したのち、医師の手当てを受けてください。 ●皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。 ●ミストを吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し、身体を毛布等で覆い、保温して安静を保ち、医師の手当てを受けてください。 ●飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の手当てを受けてください。
		廃油・廃容器の処置	●処理方法は法令で定められています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合は購入先にご相談の上処理してください。
		保管方法	●ゴミ、水分などの混入防止のため、使用後は密栓してください。 ●直射日光を避け暗所に保管してください。

A-5-1